

iPhone修理はお任せください。

モバイル修理.jp伊賀上野店 吉澤 宏和

4月6日にアポロ興産内にて開業、皆様のあたたかいご支援の下、おかげさまで早4カ月経過いたしました。修理後のお客様の笑顔を拝見でき、私たちスタッフも活力をいただいております。本当にありがとうございます。

さて、話は変わりますがiPhoneユーザーなら気になるのが新機種の発表ですよね？ 今秋にAppleより発表されるiPhone15シリーズ、なかなかのお値段がするのではないのでしょうか？ そうなると機種変更も躊躇してしまいます。

そこで現在ご使用のiPhoneを今後も長く使用していただくための修理屋さんの登場です。当店はアップルストアではありませんが、総務省に認められた部品を使用し、修理内容を総務大臣へ報告する『総務省登録修理制度』の店となり安心して修理をご依頼いただけます。

アップルストアとの大きな違いは主に3点!!

■ 低価格 ■ 即日修理 ■ データはそのまま

総務省登録修理業者は当店が伊賀地区初出店です。皆様に安心して修理を任せいただけるよう心掛けております。未永くお付き合いくださいますようお願い申し上げます。また当店で修理できる主な内容を簡単にご紹介させていただきます。

ガラス・液晶交換修理



iPhoneのフロントガラスは、その大きさ故に圧縮・衝撃を受けやすく、割れや亀裂が発生しやすいものです。亀裂やひび割れを放置している方も多いですが、ホコリやゴミが内部に入り込み、ショートや不具合の原因になります。そうなる前に、早めの修理をオススメ致します。

バッテリー交換修理



iPhoneのバッテリー寿命は500回のフル充電と言われています。1年を過ぎた頃にはバッテリーも劣化が進んでいますので、充電の持ちが悪くなってきます。

ホームボタン交換修理



iPhoneのホームボタンは使用頻度が高いと、反応が鈍くなることがあります。それはホームボタンの部品の一部が擦り減ったり、陥没している事が原因です。

カメラ交換修理



iPhoneにはフロントカメラとバックカメラの2種類のカメラがあり、それぞれ機能や性能が異なります。落下の衝撃で壊れたり、ガラスの破損が原因でカメラレンズに傷や汚れが付くこともあります。カメラに異常を感じた時には早めの修理をオススメ致します。

スピーカー交換修理



iPhoneには上下2つのスピーカーがあります。音声の聴き取りや、音を広げて流すなど、それぞれのスピーカーが役割をしています。スピーカーには小さなホコリが入り易い為、音声を聴き取り難くなったり、雑音が入るなどの症状が出ることがあります。湿気などが影響している場合もありますので、スピーカーの異常を感じた時は早めの修理をオススメ致します。

修理料金は下記ホームページよりご確認ください。また当店は予約優先の為、お電話もしくはホームページからのご予約をお願いします。気まぐれながら、時間とネタがある時にホームページにて修理ブログを更新しております。ぜひお立ち寄りください。

総務省 登録修理業者
電気通信事業法：T000030 電波法：R000030
安心安全のiPhone修理専門店

モバイル修理.jp
mobile-shuri.jp
伊賀上野店

住所 伊賀市四十九町1140(アポロ興産内)
電話予約番号 080-3843-4345
電話受付 月曜日～金曜日(土日祝休み)
受付時間 9:00～17:00
WEB予約 <https://mobile-shuri.jp/igaueno>

LINEの「友だち追加」から「ID検索」または、「QRコード」を登録してください!!
アポロ新聞の更新通知も届きます。
お待ちしております♪

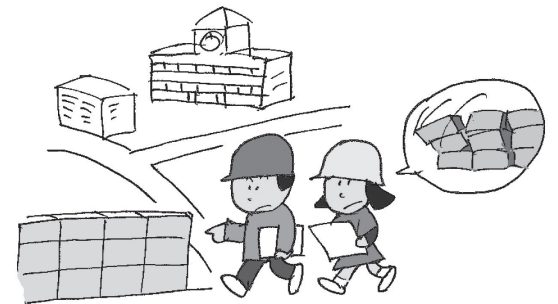
LINE ID: @143cvqye

防災の日ってなに!?

ホームガス課 森田 裕樹

日本には防災の日を含め、防災にまつわる記念日が多く存在します。日本では地震や洪水、台風などの自然災害が多いため、非常用持ち出しバッグや非常食を用意している方も少なくないかと思います。自然災害は突然起こるため、災害発生時に対しての事前準備が重要です。

今回は、防災の日の意味や由来、また災害時の準備を紹介します。防災の日には非常食や家具の配置を見直し、家族と相談して災害発生時の対応について一緒に考える日にしましょう。



防災の日とは？ 防災の日の意味・由来

防災の日とは、1960年に制定された防災の啓発を目的とする日です。**防災の日は、1923年の関東大震災が起きた日に由来し、毎年9月1日とされています。**また、防災の日を含めた9月は防災月間です。

9月は1年の中でも特に台風が来て、風水害の多い時期です。啓発を行う日を設けることで、国民一人ひとりが災害への認識を深め、対処する心構えを身に付けることが制定の目的となっています。

9月1日を「防災の日」と制定した理由はいくつかあり、**関東大震災が発生した日である他に、暦の雑節の1つである二百十日が9月1日頃であることも関係しています。**二百十日とは立春から数えて210日目のもので、古くから台風の多い時期であり、災害が発生しやすい厄日として扱われていました。防災を啓発する日として関係付けしやすかったことも、防災の日に9月1日が選ばれた理由となっています。

防災の日にやっておきたいこと2つ

災害はいつ発生するか分かりません。そのため、普段から家庭や職場において、万が一の災害を想定して準備を整えることが大切です。日本では地震や土砂崩れなどの自然災害が頻繁に起こるため、防災グッズや非常食を準備している家庭も少なくありません。

① 非常用持ち出しバッグの準備

被災し自宅から避難する場合には、避難所生活において必要となる物品を持ち出す必要があります。常日頃から必要となる物品を非常用持ち出しバッグに入れておけば、いざというときに、慌てて集める必要がなくなり、スムーズな避難が可能です。

② 連絡手段や避難場所の確認

災害に備えるには、あらかじめ家族間で緊急時の連絡方法や地域の避難場所を把握しましょう。避難場所の確認を怠ると、災害発生時に適切な避難場所へ辿り着けなかったり、安全な避難経路を選択できなかったりする場合があります。自らを危険にさらすことになります。

また、災害時に家族が離れている場合もあり得るため、緊急時の連絡先や連絡手段、落ち合う集合場所を確認しておく、家族の安否確認に役立ちます。

《伊賀市防災・情報アプリHAZARDON(ハザードン)》

伊賀市防災・情報アプリHAZARDONは、地域（自治協議会）ごとの詳細な避難情報（避難指示等の情報）を確認できるアプリです。避難情報の他にも災害緊急情報・気象情報・地震情報・土砂災害情報・火災情報などの情報が選択できます。「伊賀市防災・情報アプリ」と検索してみてください。

アポロ興産では、「もしも」の時の備蓄水として役立つ宅配水サービスや停電時にも安心して使えるLPガス発電機を取り扱っております。
お気軽にお問い合わせください。